

## 参考資料 2 -

### ○変動型（平均型）最低制限価格採用自治体の制度比較

（各市HPによる調べ）

自治体名	対象となる入札	最低制限価格算出の対象者（A）	算出式	その他
立川市	条件付き一般競争入札 有効入札者3者以上	有効入札者（予定価格以下の入札）のうち入札価格の低い者から60%（1未満の端数切上）の者	Aの平均入札価格×0.85	
兵庫県 相生市	原則全て	有効入札者 （予定価格以下の入札）	Aの平均入札価格×0.9 有効入札者1者の場合：予定価格×2/3	
兵庫県 西宮市	予定価格5千万円以上 （原則）	有効入札者 （予定価格以下の入札）	予定価格×0.86 +（Aの平均入札価格-予定価格×0.86）×0.3	上限：予定価格×0.9 下限：予定価格×0.7
長野県 千曲市	選定委員会で指定	有効入札者（予定価格以下の入札）のうち入札価格の低い者から60%（1未満の端数切上）の者	Aの平均入札価格×0.92 有効入札者1者の場合：予定価格×0.75	下限：予定価格×0.75
神奈川県 橋本市	予定価格130万円以上	有効入札者（予定価格以下、下限価格（予定価格×0.85）以上の入札）	【有効入札者のうち順位が中央の者の入札価格（有効入札者が偶数の場合は中央2者の入札価格の平均）+下限価格（予定価格×0.85）】÷2	下限：予定価格×0.85